

# ACADEMY - アカデミ - 編 -

**日時** 令和6年2月3日(土)

**場所** デザインギャラリー (旭川市宮下通11丁目)

**受講生** 9歳から70代までの27名

**趣旨** 「ツアー編」を踏まえ、製品出荷の過程で発生する廃材にスポットを当て、「アップサイクルデザイン」という視点から新たな取組アイデアを検討する

## プログラム

【OP】 アイスブレイク

【講義】 循環型の森林資源活用に向けて

【講義】 アップサイクルデザイン

【ワーク】 アイディエーション

【講義】 規格外野菜を活用したランチ

【ワーク】 プロトタイピング

【ワーク】 プレゼンテーション

**共催** 下川町 (総務企画課・地球温暖化対策推進室)

## ファシリテーター



## 豪華講師陣等





## 【オープニング】アイスブレイク

まずは全員立ち上がってウォーミングアップ  
身体を動かしながら参加者同士で交流した後  
簡単にツアー編の振り返り学習を行いました



## 【講義①】循環型の森林資源活用

緑川木材(株)における『地材地消』を基本とした  
3層パネルの商品開発や、製造段階で生じる  
端材・廃材の活用事例等について学習しました



## 【講義②】アップサイクルデザイン

本アカデミー編のキーワードとなる『アップサイ  
クルデザイン』について、708号室における取組や  
講師制作の作品紹介などを通じて深掘りしました



## 【ワーク】アイディエーション・1分間ピッチ

大小様々の『木っ端』を活かした製品案を検討し  
考案したアイデアを、1分間で皆にアピール！  
具現化するための仲間を募ってチームを結成♪



## 【講義】規格外野菜の活用

規格外野菜を用いた商品開発や製造過程で生じる  
食品残渣の堆肥活用等について、(株)谷口農場の  
地産地消グルメを試食しながら学習しました



## 【ワーク】プロトタイピング

1分間ピッチで組んだチームごとに分かれて、各  
アイデアを基に、意見を出し合いながら黙々と  
作業を開始！素敵なお作品に生まれ変わりました♪

## TEAM イーゼル



### メンバー

5名（氏名非公表）

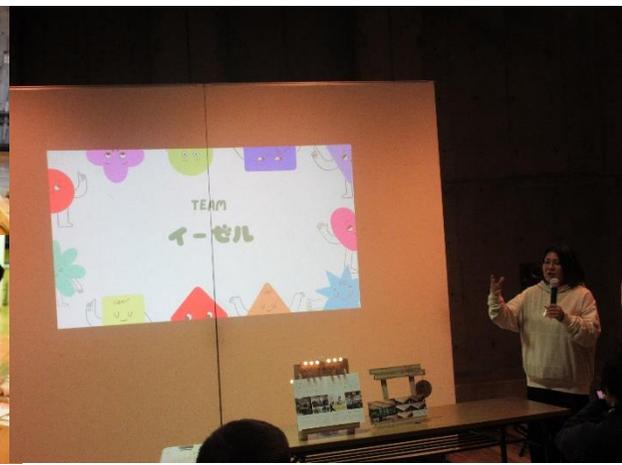
### 内容

- イーゼルボードから着想を得て、スマホスタンドやリモートワーク時のPC置台としての活用のほか、多用途な使用が可能という意味を込めた「デザインボード」を制作
- ボード上部の窪み部分は、アクセサリ掛けとしての使用や女優ライトの設置も可能
- クラフトの山と女性チームをイメージした流曲線形のオリジナルロゴを電熱ペンでデザイン

### 講評

【緑川 氏】

- 造形デザインのほかに電熱ペンでグラフィックデザインも入り、さらには照明という別の要素も組み合わせられていて、女性チームならではの印象を持った
- すごく特徴的なモノができたと思うし、1作目から2作目までの進化がすごいと思う



## TEAM ノースウッド2



### メンバー

3名（氏名非公表）

### 内容

- 業務の都合により途中退席した受講生の意思を継いで、キャンプ用のテーブルを制作
- T字型の端材の溝をそのまま活用し、脚の部分のストッパーになるように工夫した
- 組み立て式のテーブルで簡単に着脱ができるようになっており、脚の部分も取り外しが可能な構造にしたことで、持ち運びや収納時にも便利なコンパクトな形状になった

### 講評

#### 【蜂須賀 氏】

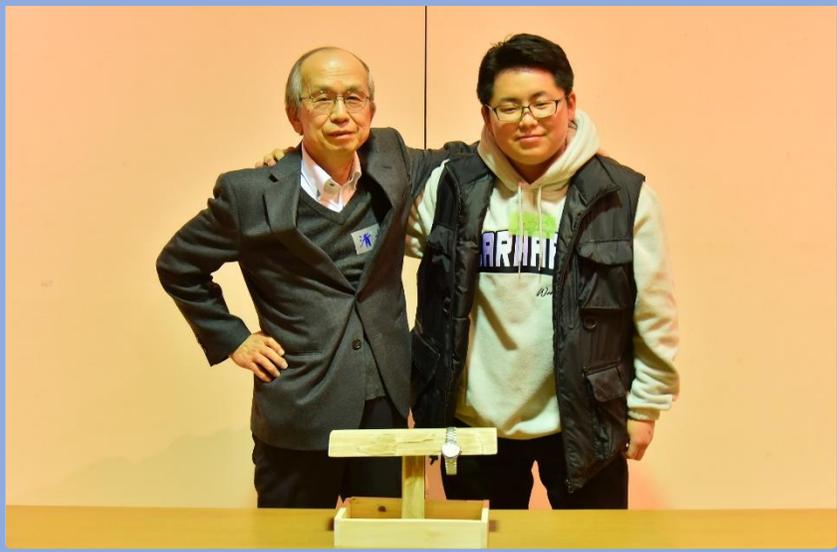
□端材とは思えないくらいしっかりとした作りで、こういうモノが出来るなら、もっといろいろな端材の利活用ができるんじゃないかと可能性を感じた

#### 【疋田 氏】

- 2時間少々で完成したとは思えないくらい完成度が非常に高い
- 脚の部分を取り外して持ち運びできるようにしたという工夫が非常に良かった



## TEAM りょうや



### メンバー

2名（氏名非公表）

### 内容

- 小物も入れられる腕時計スタンドを制作
- 当初は腕時計スタンドだけの予定だったが、若い人がどんどんアイデアを出して、実際に作っていくのが楽しく、最終的に2人の意見を反映した小物入れ付きのスタンドとした
- 木の皮を見せているのが特徴で、端材の素材を活かした作品に仕上げた

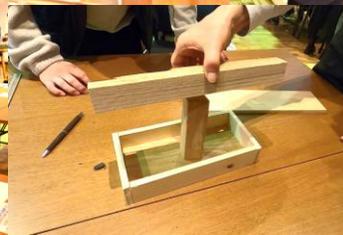
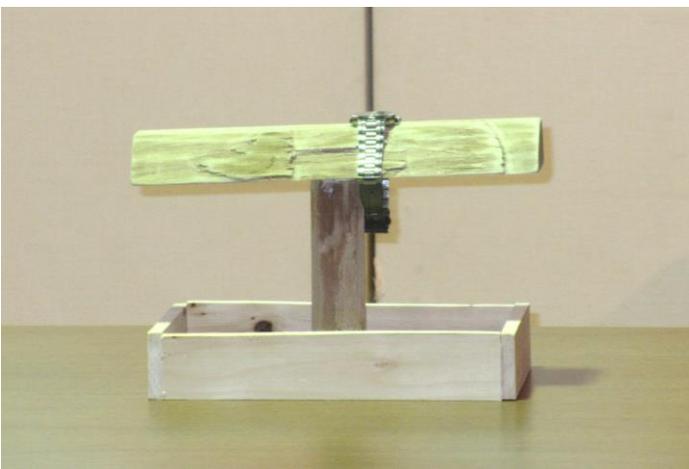
### 講評

【緑川 氏】

- 2人で意見を出し合って、もっとこうじゃないかと遠慮なく言い合っているのが良かった
- その結果、思った形がこの短時間で素晴らしい形で実現したというのすごいと思う

【菊池 氏】

- 最初は2人で大丈夫かなと思ったが、当初案からパワーアップして素晴らしい作品になった



## TEAM TKW



## メンバー

3名（氏名非公表）

## 内容

- 料理道具のCuttingボードとヘラを制作
- 一人一人作ったので、形や大きさには個性が出たが、頑張ってヤスリで削った
- デザイン性にこだわりたいと思い、棚も制作しようとしたが、時間が足りずに最終的には断念したが良い機会となった

## 講評

### 【蜂須賀氏】

- 無垢材を自分の生活に合うように製材にして作っていて本当に素晴らしいと思った
- 自分で作ってみると加工の大変さがよくわかるので、一般に売られている製品の価値であったり、価格だけではなく良いモノを使おうという意識も芽生えると思う

### 【緑川氏】

- 1番汗をかいていたチームで、作品もすごい滑らかに研磨されていて素敵だと思う



## TEAM ANN



### メンバー

3名（氏名非公表）

### 内容

- DIYで車の内装を作るというテーマで、車載用のボードとスマホホルダーを制作
- ボードは、車内でのリモートワーク時や、ちょっとした物置きスペースとしての活用を想定しており、スマホホルダーは、『車内でも家に帰っても使える』をコンセプトに考案した
- 案を考える時間をかけすぎてしまい、モノを作るのが上手くできなかったところが反省点

### 講評

【蜂須賀氏】

- 1番試行錯誤していたチームで、アイデアや作品の作り方なども、いろいろな方向から考えていて、頑張っているなという印象を持った
- スマホホルダーは自宅でも使えるので、愛着を持ってこの先も使ってもらえたら、今日の思い出とか、ゼロカーボンの意識もたまに思い出せるモノになるのかなと思った



## アカデミ - 編の全体講評

### 【緑川 氏】

□工場では生産性が優先され、端材をどう処理するかということしか頭がないが、普段自分たちが触れているものが、受講生の方々の手によって、別の価値を持った作品に生まれ変わる瞬間を経験させていただき感謝

### 【蜂須賀 氏】

□自分の生活で使うものを自分の手で時間をかけて作るという贅沢さも、暮らしの楽しみだと思うので、ゼロカーボンに限らず、自分の暮らしを作っていくことであったり、端材以外にも暮らしの中で『いらないけど捨てるのはもったいないモノ』を見つけて、何かに使えないかなという時間を、この先も作っていつもらえたら嬉しいと思う

### 【菊池 氏】

□今日の取組について、ゼロカーボンの視点から考えると何が良かったかという、単体でもすごく効果があるという取組ではなくても、余っているものや捨てるのが当たり前だと思っていたところの視点を変えて、皆が楽しみながらも少しずつ何かを見つけていくという過程が大事  
□本当に素晴らしいアイデアが生まれ、素敵な作品ができたと思う

### 【疋田 氏】

□蜂須賀さんから冒頭に『素敵なんだけれどもゼロカーボン』という話があったが、ゼロカーボンというと温室効果ガス削減のための苦労や我慢のイメージが少なからずついて回り、ただ呼びかけるだけでは長続きはしないので、今回のワークショップのようにワクワクしたり、楽しいと思えるようなことにゼロカーボンを繋げていく必要があると感じている  
□ゼロカーボンはいろいろなところにシーズがあり、今回の事業を通して自分なりの気づきが得られたと思うので、今後もいろいろと考えながらあくまでも楽しく取組を広げていっていただければと思う

## カーボン・オフセットの取組紹介

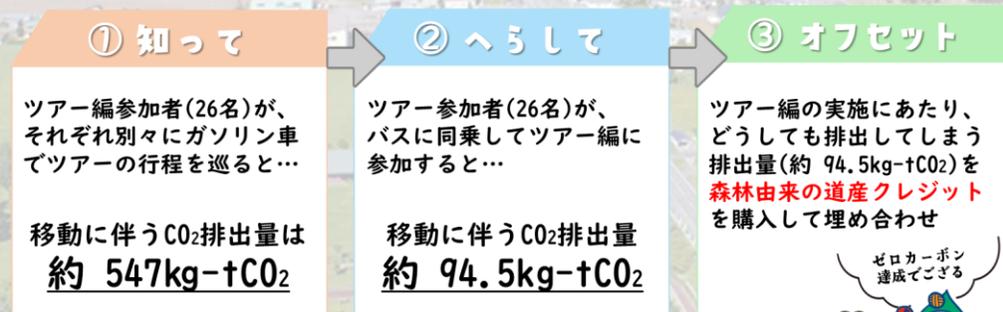
■1月12日に実施した「ツアー編」で使用した大型バスの移動に伴う温室効果ガス排出量(94.5kg-tCO<sub>2</sub>)について、下川町を含む道内4町連携森林吸収量創出プロジェクト(北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業)のクレジットを活用して行った『カーボン・オフセット』の取組についてご紹介

種 類	間伐推進
場 所	足寄町・下川町 滝上町・美幌町
クレジット 発行量	26,811t-CO <sub>2</sub>



### 北海道4町連携による 間伐促進型森林づくり事業

道内の4町(足寄町・下川町・滝上町・美幌町)で構成された「北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会」が実施するプロジェクトで、4町共通の地域資源である「森林」を適切に管理し、持続的な利用を推進することで、森林の健全化を確保しながらCO<sub>2</sub>吸収量の増大を図っています。



『かみかわゼロカーボンアカデミーツアー』ということで、事業開催に伴う温室効果ガス排出量の抑制に努めました!

